



第2日目(7/16) 現地2日目 午前陸前高田伝承館



[速報ページへ](#)

[午後のページへ](#)



岩手県陸前高田市も津波被害で市街地が大きな被害を受けた場所です。奇跡の一本松・旧道の駅のすぐ近くに建てられた伝承館で、現地のボランティアガイドの方に、資料などについてお話を聞かせて頂きました。



伝承館資料



津波で曲がった橋げた



消防団の被害車両



語り部の方から説明



伝承館の資料解説



伝承館・堤防前にて



堤防上の献花台



奇跡の一本松前にて

生徒たちのふりかえり(1)

1年 乗金

陸前高田津波伝承館では津波によって大きく曲がってしまった気仙大橋を見たり、人々を避難するよう誘導している時に亡くなった消防隊員が多かったという話を聞いたりした。自分の身は自分で守ることを第一に考え、そこから周りの人のことも考えられるようになりたい。「津波のときはてんでんこ」、「津波が来たら周りを気にせず、てんでんばらばらに、それぞれで逃げなさい」という言葉を忘れず行動したい。

お昼は、はまわらすの田んぼの周りに生えてる草抜きをした。上手く雑草が抜けないことや、転びそうになることがあった。最後に田んぼ全体を見たらとても綺麗になっていてすごく嬉しくなった。とても大変だ、疲れたと思った分だけより一層やりがいを感じた。草抜きのあとは、気仙沼内湾にプチフィールドワークをした。海にある防波堤について、様々なことを聞いた。防波堤をコンクリートにしたことで住民の方々から「海が見えないことが怖い」という意見が入ったと聞き、自分が普段感じることの無い感覚だなと思った。海の近くに住んでいるからこそ、海と呼吸をして、海の様子を見て津波の時も自分たちで判断していたからこそ、海が見えないことは怖いと感じるのだと聞いた。そこから防波堤は普段はm低くしており、車の窓から海がみれるように、そして、実際に波が高くなった時は高さが段々と上がるようになると聞き、しっかりと意見を取り入れた作りになっていてすばらしいものだなと感じた。ホストファミリーの方に用意していただき、今日の夜ごはんはホヤをいただいた。初めて食べて、海のような磯のような雰囲気を感じ、とても美味しかった。先生に作っていただいた酢醤油につけるともっと美味しかった。

1年 安永

東日本大震災津波伝承館では東日本大震災で助かった人の行動と亡くなってしまった人の行動の両方が記されていて、私が生きているうちに必ずくるであろう南海トラフの対策として、命を守るために役立たせて頂こうと思った。最も心に残ったのは、外国からの支援についてのコーナーです。誰もが知っているような大国から聞いたこともない国までたくさんの国々が、災害時に救急隊派遣や寄付など多くの支援をしてくださった資料を見て心を打たれた。それは国際間の問題が多くある今だからこそ、それぞれの国が互いに助け合って、発展していけたらいいのと感じた。また、道の駅高田松原で買った「くるみゆしべ」がハチャメチャに美味しかったので、来年また買いに行こうと思ったし、美味しそうなのがあれば取り敢えず買ってみたいと思った。気仙沼内湾の交流プラザでは短い時間ではあったけど色々なことを教えていただいた。初めに建物を見たときはとてもおしゃれだと思ったけど堤防が隠されていてすごいと思ったし、現地の人の色々な想いがあることを感じられた。七つのフロアの内1つしか行くことができなかったのが個人的にゆっくり回りに行こうと思った。

1年 田口

午後には「はまわらす」で昼食を食べて、田んぼに向かいました。そこでは自分は田んぼの中の草抜きを行いました。素足で田んぼに入るのは初めてでしたが良い経験になりました。また、民泊の家に帰った後は犬のウィードの散歩に連れて行かせていただき、自然に触れながら楽しみました。その後、家では人生初のホヤを食べさせていただきました。自分は意外と嫌いではない味でした。明日にはここを出なければいけません、あと週間ほど泊まりたいぐらいです!!